

OPAM
Oita Prefectural Art Museum

宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)開催記念

人類の 宇宙への 挑戦

Challenges of
Human Space Exploration

2022 10:00~19:00 ※金・土曜日は20:00まで

2/12 - 3/13
sat. sun.

|会場| 大分県立美術館 1階 アトリウム

観覧料
無料

主催：大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館
協力：一般財団法人 日本宇宙フォーラム(JSF)



文化庁

令和3年度 文化庁 文化観光拠点施設を
中核とした地域における文化観光推進事業

人類の宇宙への挑戦

Challenges of
Human Space Exploration

宇宙のはじまりと私たちののはじまりは、137億年という時の流れの中でひとつにつながっています。宇宙に挑戦し、宇宙について知ることは、宇宙の中にある地球やそこで育まれた生命の大切さを知るきっかけになります。宇宙技術および科学の国際シンポジウム (ISTS) 大分県大会の開催にあわせ、大分県立美術館では、一般財団法人 日本宇宙フォーラム (JSF) の全面的な協力の下、アメリカン連による宇宙開発の歴史など、人類の宇宙への挑戦を振り返るアトリウム企画展を開催します。

第1ゾーン

歴史

「挑戦の歴史」～月を目指した米ソの宇宙競争～

人類初の有人月着陸を達成させた先人たちの挑戦の足跡をたどります。最大の目玉は本物の月の砂と石の展示です。「月の砂」は、旧ソ連（現在のロシア）の無人月探査機ルナ3機によって地球に持ち帰られた砂の一部です。ロシアからはじめて日本に提供されました。「月の石」は、1971年にアメリカのアポロ15号によって地球に持ち帰られた岩石の一部です。NASA（アメリカ航空宇宙局）が新たに原石から切り出して日本に提供したものです。

※「月の石」の展示は3月1日（火）からの展示となります。



©JSF

拡大鏡で
見てみよう!

無人
月探査機ルナが
持ち帰った
月の砂



©JSF

©NASA

第3ゾーン

未来

「未来への挑戦」～再び月、そして火星へ～

人類初の有人月着陸からおおよそ半世紀たった今、再び人類が向かおうとしている月、そしてその先の火星に焦点をあて、宇宙開発の未来像を展望します。火星由来の隕石「ナクラ」は1911年にエジプトの町ナクラ付近に落下した火星起源の隕石で、約13億年前の火星の情報を保存した貴重な研究試料です。大英博物館やアメリカ自然史博物館など世界で有名な博物館では代表的な火星隕石として展示されています。



©JSF

九州
初公開!

隕石
「ナクラ」

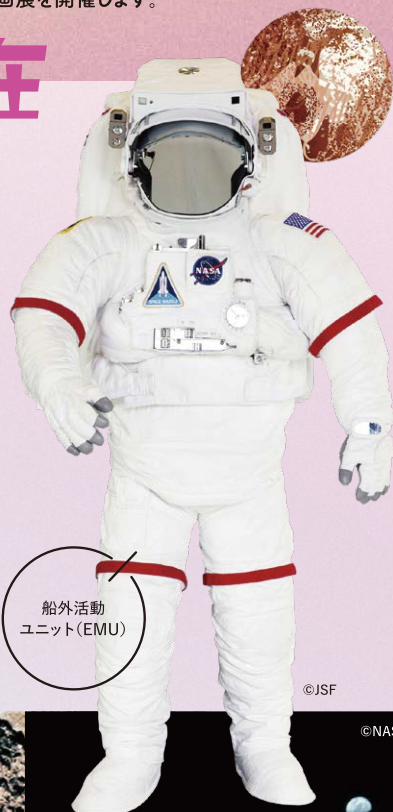
第2ゾーン

現在

「挑戦の最前線」

～競争から協調へ～

最新の宇宙研究について、日本人宇宙飛行士や民間企業の活躍などを通じて、現場の最前線に迫ります。宇宙飛行士が宇宙空間で活動するために開発されたアメリカの船外活動ユニット (EMU) は、現在も国際宇宙ステーションで使用されている現役の宇宙服です。今回展示するEMUは、外面に本物の生地を使って精巧に再現したレプリカです。展示以外に顔を出して記念撮影することもできます。



船外活動
ユニット (EMU)

©JSF

©NASA

第33回 宇宙技術および科学の国際シンポジウム (ISTS)

日時 2022年2月26日（土）～3月4日（金）

会場 別府国際コンベンションセンター (B-Con Plaza)

ISTS会場では、宇宙飛行士の講演会や映画の座談会、VR宇宙飛行士選抜体験など幅広い世代で楽しめる開幕イベント「おおいたそらはく」が開催されます。詳しくは<https://ists.pref.oita.jp/>でご確認ください。



詳しくはコチラ

2/26（土）・27（日）は、B-Con PlazaとOPAMをつなぐ無料シャトルバスが運行されます。

OPAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum

〒870-0036 大分市寿町2番1号
Tel: 097-533-4500 Fax: 097-533-4567
JR大分駅府内中央口（北口）から徒歩15分 大分ICから車で10分
<https://www.opam.jp>

